

週刊 市議会報告

日本共産党

07年8月27日
第1008号
【発行】日本共産党
浦安市議団
市役所控え室
☎350-1243



元木美奈子
入船4-37-14
☎355-8526
minamotonton@jcom.home.ne.jp



井原めぐみ
東野2-8-13
☎353-4730
i_megumi@d8.dion.ne.jp



美勢 麻里
北栄2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.home.ne.jp

兵庫県朝来市 「いくの喜楽苑」

施設であっても我が家のような暮らしを実現

「特養ホームを増やして」「老後が安心の施設を住み慣れた街で」…多くの声が日本共産党に寄せられています。「ああ、生きてる感じがやー」と党市議会報告(93年12月)で紹介した、兵庫県朝来市生野町の特別養護老人ホーム「いくの喜楽苑」が、介護保険の導入や見直しの後、どのような実践をしているのか、2日、14年ぶりに視察しました。

人口の30%を超える高齢者が暮らす、緑豊かな山懐に抱かれた生野町の町並みに合った平屋建ての和風のたたずまいが、いくの喜楽苑です。05年4月には、認知症の方々のグループホーム「竹原野」も併設。「人権を守る」「民主的な運営」の基本理念に基づいて運営がされています。

生きてこられた背景を大切に

03年度に厚生労働省は新しく建設する特養は個室・ユニット化するよう制度化。いくの喜楽苑では10年早く、個室・ユニット化を職員の提案を生かして実現しました。

個室以外の2人、4人部屋も木の引き戸で完全に仕切り、一人のプライバシーの空間を作ることに、入居者の自立への意欲が高まり、認知症の人たちが穏やかに過ごされるようになるという事です。

苑内は、西町、東町、南町の三つの町に区分され入居者の各部屋には番地が記され、表札やポストがあります。個室を出るとすぐに、花や絵手紙が置かれたテーブルと椅子があります。三つの町にはそれぞれにゆったりとした食堂があり、ダイニングセットの他に、ソファやテレビ、畳の部

屋もあります。更に、菜園や中庭が広がり、花や野菜を入居者が育てています。一つの街の暖かいコミュニティが息づいて、我が家で暮らしている感覚を持つてもらえるような心遣いに満ちた設計です。

人間の尊厳を大切に

職員の生活援助の質が伴わなければ、個室化は孤立化につながる恐れも。人生の大先輩である入居者・利用者の「人間の尊厳」を守り、認知症や障害を持つても市民的生活の自由を保障する視点での援助に徹する努力が重ねられています。

外出もお酒も自由

居室への家具の持ち込み、お酒やタバコ、外食や買い物、夜の居酒屋、旅行と外泊や外出、なんでも自由です。地域の老人会や、趣味の会にも加入しています。

私たちが施設に伺った時にも、「いつてらっしゃい」の声に振り返ると、買い物カートを押して女性が一人で出かける場所でした。認知症の方の徘徊も、スタッフは「外出、お散歩」と受け止め、自由な外出をそつと見守ることが実現しています。

地域の方々と盆踊り大会

今年で15回目を迎える盆踊り大会は、認知症の方の歌う歌がかつて町が生野銀山で栄えていた頃の盆踊りの歌であることに職員が気づき、生まれました。

現在は、いくの喜楽苑で8月の一夜、400人余の町民の方々とともに賑やかに歌って踊っているという事で、準備の看板が用意されていました。苑が地域に発信し、地域に根ざすことで、在宅と同じような生活に近づけることが可能になっています。



出番を待つ看板

公的責任で十分な職員の体制を

苑の基本理念である民主的な運営を進めていく上で家族(特別養護老人ホームの家族会、デイサービスの家族会、亡くなった方々の家族OB会)・地域・ボランティアの声を聞き、意見を出し合い、良い提案を取り上げ実現していくことを大切にしています。

「介護保険導入後、自治体からの助成も減り、どうしても職員の体制にしわ寄せがくる。非常勤職員の割合を増やして何とか対応している」と、入居者を大切にする民主的運営を守る苦勞を話されていました。入居者を大切にするために職員を大切にできる十分な体制を保障することが政治の責任です。



それぞれのテーブルも生き生き

ユニット化の空間構成

- ①プライベートゾーンの個室
 - ②①のすぐそばに10人位の談話やご飯を食べるセミプライベートゾーンがまず必要です。
 - ③更に、趣味の活動などを行うセミパブリックゾーン。
 - ④地域の方々も含め大勢で集うパブリックゾーン。
- この4つの空間を機能することが生活に必要なだと言われています。